

2020年硫黄濃度規制の施行まで秒読み段階に入りました

こちらは、英文記事「[The final countdown...the 2020 sulphur cap](#)」（2019年4月4日付）の和訳です。

2020年1月1日に国際的な硫黄分濃度規制（MARPOL 条約付属書 VI 規則）が施行されるまで、あと9カ月足らずとなりました。本記事では、本規制に準拠した燃料の使用にあたり、高硫黄燃料（HSFO）から低硫黄燃料（LSFO）への切り替えを戦略的に進める方法をご紹介します。



本規制は、国際貿易に携わる商業用船舶で使用される燃料の硫黄分濃度の上限を0.50%とするものです。現在、排出規制海域（ECA）以外で適用される世界的な上限は3.50%ですが、規制に伴い上限が厳しくなります。ただし、ECA内及び[EUの各港](#)に停泊する船舶には、硫黄分濃度上限0.10%の規制が継続適用されます。

2020年硫黄分濃度規制に対応する方法は以下のとおりです。

- 硫黄含有量が管理されている燃料又は残渣油燃料といった規制に準拠した燃料を使用する。
- LNG、メタノール又は水素、バイオ燃料、合成液体燃料といった硫黄分濃度基準に適した代替燃料を使用する。
- 排ガス浄化装置（EGCS）（通称「スクラバー」）等を用いて船舶の排ガスから硫酸化物を除去し、低硫黄燃料を使用した場合と同等にする。

硫黄分濃度規制の世界的な導入を後押しするため、MARPOL 条約付属書 VI 規則 14.1において、2020年3月1日以降は規制に準拠していない燃料油を輸送することが禁止されています（ただし、スクラバーを装備している船舶を除きます）。

また、「コンプライアンス戦略」上、規制に準拠した燃料を使用するか又はスクラバーを使用するかは、船主と用船者の判断に委ねられます。

2020年に向けて始動しましょう！

船主と用船者は、低硫黄燃料油への切り替えを実施する際、以下のいずれか又はすべての事項を連携して実施してください。

- BIMCO 2020年バンカー条項を参照してください。2018年12月10日、2020年定期用船契約のための燃料移行条項及び2020年定期用船契約のため燃料油硫黄濃度条項が発行されました。これは、規制変更に起因して生じるいくつかの重要事項に関して、客観的に「公平な」立場から責任の所在を明らかにするものです。



執筆者：Sammy Smallbone
Lawyer, Tokyo

- Ship Implementation Plan (SIP) を作成・実行し、導入状況を記録してください。2018年10月には、SIP の作成に関して IMO が提示したガイダンスが MEPC73 会合で承認され、[MEPC.1/Circ.878](#) として発行されました。SIP には、少なくとも以下の方針を記載することが求められています。
 - グレードの異なる燃料油をどのように分離するか
 - いつどのように適合性検査を実施するか
 - いつどのようにタンクの洗浄を行うか
- 相互に連携して対応してください。用船契約が 2020 年 1 月 1 日をまたぐ場合、すぐに船主／用船者との協議を始めてください。タンクの洗浄と、すべての配管と燃料油供給装置の中から HSFO 残留物を除去する手順について、合意するようにしてください。
- いつどのようにタンクの洗浄を実施するか決めてください（乾ドック時か、航行中か）。乾ドック入りを予定している場合は、必ず 2020 年 1 月 1 日の期日に間に合うよう事前に予約を入れてください。
- 規制に準拠した使用予定燃料の種類を特定し、信頼できるサプライヤーからの調達を始めてください。新しい、あるいは馴染みのない種類の燃料を発注・使用する場合は、事前にエンジン製造元からアドバイスを受けるようにしてください。
- 船長と乗組員に対して 2020 年 1 月 1 日以降の変更点を説明し、必要な事前準備を講じられるようにしてください。また、船舶の装置のあらゆる箇所から HSFO 残留物を除去することの重要性を理解させるようにしてください。予期せず違反してしまった場合の対応計画を用意してください。また、船長と乗組員に、すべきことと、（規制に準拠した燃料が入手できなかった場合の IMO への報告書案などの）必要書類の記入方法を周知してください。

MARPOL 条約による硫黄分濃度 0.50%への規制変更は、2020 年 1 月 1 日から実施されます。先送りすることはできません。適切な備えを確実に講じておくために、上述した提案のいずれかを実施するようにしてください。5 月 13 日～17 日に MEPC 74 会合が予定されており、ここで 2020 年問題についての未決定事項に対して IMO が最終回答を提示します。Gard では、この会合の内容を反映したアップデート情報を皆さまにお知らせする予定です。さらに助言が必要な場合は、Gard の窓口担当者までお問い合わせください。

最後に、本記事の執筆にあたり支援を受けた同僚の Kristin Urdahl 女史 (Senior Loss Prevention Executive) に感謝を述べたい。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文と内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。